平成２９年度　北海道留萌千望高等学校　学校評価書（学校関係者評価）

［A：十分(3.5～4)　B：おおむね十分(2.5～3.4)　C：やや不十分(1.5～2.4)　D：不十分(0～1.4)］　平成30年3月末現在

分野	No.	評価項目	①自己評価結果 達成状況	達成度	自己評価の結果	改善の方策	②自己評価結果に対する評価 自己評価の適切さ
教育目標	1	生徒の実態や保護者、地域の願いを踏まえて学校経営計画を設定している。	3.1	B	・校長のリーダーシップのもと、学校経営計画の具現化に向けて教育活動を推進した。 ・職員の共通理解のもと学習指導、生徒指導、進路指導、特色ある教育活動等、一定の成果を上げてた。	・新設校としてより組織的、協働的な学校運営を進める。 ・学校経営計画の具現化に向け、職員の共通理解を図りながら、教育活動を行っていく。	A
	2	学校経営計画を具現化するという意識のもと、日常の教育活動を行っている。	3.0	B			A
	3	教職員が相互理解に努め、望ましい人間関係が醸成されるような職場の雰囲気がある。	2.9	B			B
	4	学校経営や運営が効率的に進められる学校組織となっている。	2.9	B			B
	5	学校の教育方針や特色ある教育活動などについて、保護者や地域の人々に十分説明されている	2.9	B			B
		学校関係者の意見等					
教育課程・教科指導	6	学習指導要領の趣旨やねらいを踏まえて、生徒の実態に対応できる教育課程の編成を行っている。	3.1	B	・平成30年度教育課程の編成について、各科とも様々な進路に対応した編成を行う。 ・成績不振生徒については基礎学力が不足している状況があるので、学び直しや複数教員の配置等の方策が必要である。	・基礎学力の向上に向け公開授業と校内研修による授業改善をさらに進める。 ・課題等による家庭学習の取組を土台に、学習習慣の定着を図る等、改善策を検討し実行することにより、生徒の成績向上へつなげる。 ・成績不振生徒に対する早期の対応や、個に応じた指導を推進する。	A
	7	学力向上を図るために、指導の工夫をするなどの授業改善に努めている。	3.0	B			A
	8	自主的な学習活動の確立に努め、自主創造の喜びを実感できる生徒を育成している。	2.7	B			B
	9	各教科･科目の学習指導計画は適切に作成されている。	3.0	B			B
	10	学習指導計画に基づき、評価･評定や学習指導方法の改善に生かされている。	2.9	B			B
	11	各教科･科目のシラバスは適切に作成されている。	3.0	B			B
	12	シラバスは、学習意欲の向上や教育効果に役立っている。	2.6	B			B
	13	「総合的な学習の時間」（課題研究）は、趣旨やねらいを踏まえて適切に行っている。	3.2	B			A
		学校関係者の意見等	基礎学力の向上を目標に、学力の定着に向けた継続指導をお願いしたい。 資格取得率の向上をお願いしたい。				
生徒指導・特別活動	14	学校行事の企画･運営にあたっては、それぞれの行事のねらいに基づいて行われている。	3.1	B	・日常の生活指導について身だしなみ、あいさつ、マナー指導等についてさらに改善を図る必要がある。 ・街頭指導や講話等を実施し、生徒の意識向上が見られた。 ・インターネット・SNS等によるトラブルは減少しているが、スマートフォン利用マナーについてに継続的な指導が必要である。 ・学校行事については、ねらい通りに行われた ・あらゆる機会を通じていじめ防止に向けての取組を行った。	・道徳意識の向上を目指し教育活動全体を通じて、指導の充実を図る ・引き続き交通マナーについて日常の指導や講話等を通じ、更に意識の向上を図る。 ・ネットトラブル防止に向け、早い時期に使用方法の危険性について指導を行。 ・日常生活における生徒観察や問題の早期発見に向け、個人面接や組織的な教育相談体制の確立に努める。	A
	15	生徒理解を深め、全教職員の共通理解と協力により、きめ細かな生徒指導が行われている。	2.8	B			B
	16	いじめ問題について、未然防止や早期発見に努めている。	2.8	B			B
	17	いじめ問題に対し、適切に対応している。	2.8	B			B
	18	問題行動の未然防止や早期発見に努めている。	2.9	B			B
	19	問題行動に対し、適切に対応している。	2.9	B			B
	20	部活動への積極的な参加を促している。	2.7	B			B
	21	部活動と学習を両立させる工夫や指導が行われている。	2.6	B			B
	22	基本的な生活習慣や身だしなみ指導などが、全教職員の協力体制のもとで行われている。	2.6	B			B
	23	交通安全意識を高める指導を十分に行っている。	3.0	B			A
	24	教育相談・特別支援は、外部機関との連携を含め組織的な協力体制のもとで進められている。	2.6	B			B
	25	各学年や各分掌との連携を十分に図っている。	2.8	B			B
	26	生徒会活動や学校行事を通じて、千望生としての自覚や連帯感を育てている。	3.0	B			A
		学校関係者の意見等	生徒は、落ち着いた生活を送っている。 生徒とのコミュニケーションを基本に、生徒指導の充実を図ってほしい。				

平成２９年度　北海道留萌千望高等学校　学校評価書（学校関係者評価）

［A：十分(3.5～4)　B：おおむね十分(2.5～3.4)　C：やや不十分(1.5～2.4)　D：不十分(0～1.4)］

	No.	評価項目	①自己評価結果 達成状況	達成度	自己評価の内容	改善の方策	②自己評価結果に対する評価 自己評価の適切さ
進路指導	27	一人一人の生徒が自己実現を図ることができるよう、全教職員の共通理解と協力により進路指導を行っている。	3.0	B	・進路ガイダンスでは、一定の成果を上げた。 ・多様化する生徒の受験対策としてガイダンス機能の充実を図る必要がある。	・学年や学科との協力により、十分な時間をかけて進路意識を高め、社会性を身につけられるキャリア教育を推進する。 ・進学受験について情報の収集・整理・共有に努める。	A
	28	生徒や保護者、地域住民の期待に応えるために、充実した進路体制づくりに努めている。	3.1	B			A
	29	正しい職業観・勤労観を育て、自己理解を促す指導を適切に行っている。	2.9	B			B
	30	進路実現に係る様々な情報や資料の収集に努め、迅速かつ適切な情報提供を行っている。	2.9	B			B
		学校関係者の意見等	生徒一人一人の進路実現につなげる指導について高い評価を得た。進学・就職先の情報を分析し、生徒の指導に生かせる進路指導で成果をあげる。				
健康安全	31	生徒の実態や今日的課題に対応した健康安全指導を十分に行っている。	3.0	B	・避難訓練、薬物乱用防止教室や性教育等の講演により、安全や健康管理に対する意識の向上が見られた。	・危機管理マニュアルの見直しを行い、効果的な活用に取り組む。 ・外部講師を活用し、啓蒙活動の充実を図る。	A
	32	校内の環境美化は良好である。	2.7	B			B
		学校関係者の意見等	適切な評価であり、次年度以降の取組に期待する。				
ＰＴＡ	33	保護者等へ「学校通信」や「ＨＰ」などを活用して、積極的に情報の発信を行っている。	2.8	B	・PTA活動は活発で充実した取組であった。 ・HPの更新では、日常の教育活動の情報発信を行った。	・保護者・地域への発信力を高め、学校理解・信頼度の更なる向上に努める。	B
	34	ＰＴＡ活動に積極的に関わり、充実した活動になるよう努めている。	2.9	B			B
		学校関係者の意見等					
設備	35	校内ＬＡＮの整備及び円滑な運用を図り、校内の情報管理の徹底に努めている。	3.3	B	・校内LANの保守整備や情報管理の強化を行った。 ・統合に向け、図書整理を行った。	・校内LANについてはセキュリティの強化に努める。 ・図書については、生徒利用を増やすため、広報活動に努める。	A
	36	情報機器や視聴覚教材を充実させるとともに、それらを教育活動に生かしている。	3.1	B			A
	37	図書を充実させるとともに、それらを教育活動に生かしている。	2.8	B			B
		学校関係者の意見等	統合に向けた改修工事では、限られた施設設備で大変だったと思います。				
総合	38	総合的に見て、本校の教育活動は良好であり、教育効果を十分に上げている。	3.0	B		・新設校として、職員全員の資質向上と教育活動の充実に推進する。	B
本校教育活動全般に対する意見		生徒は落ち着いた生活を送っている。 地域との係わりにおいて、今年度も様々な場面で千望生が活躍している。今後もこのような活動を継続しさらに発展させてほしい。 課題研究の発表を拝見したが、「ものづくりの精神」として立派である。今後の成果に期待する。 頭語準備のため、施設設備や工事との兼ね合いで色々工夫されていたと思います。					